

令和4年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和5年1月16日  
江別市立大麻小学校

1. 本年度の重点目標

- ◎「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～  
 ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子      ○自らの目標を持ち、最後までやりきる子  
 ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応）      ○思いやりの心で自ら行動できる子

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野           | 評価項目   | 自己評価 |   | 学校関係者評価  |         |
|--------------|--|------|---|----------|---------|
|              |  | 達成状況 | 改善の方策   | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 経営方針の重点      | ◎「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子<br>～伝え合い 認め合い 高め合い～<br>○進んで学び、考えや思いを生き生き表現できる子<br>○自らの目標を持ち、最後までやりきる子<br>○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応）<br>○思いやりの心で自ら行動できる子 | B    | 「元気にはい」「進んではい」「最後まではい」のスローガンのもと、お互いの気持ちや立場を理解し、楽しく学校生活を過ごす児童の姿が多く見られた。人の話を聞き、きまりや約束を守ろうとする意識、係や委員会活動、行事等へ自己の責任を果たそうとするなど意欲的な参画意識を感じることができた。<br>しかし、自分の思いや考えを表現する、他者へ伝える力に相対的な課題が見られるので指導の工夫・改善を図っていく必要がある。学級経営・学力向上の全体計画に示されている具体策について、今一度共通理解を深め、全教職員が一体となって課題の解決に取り組んでいく。 | A        | A       |
| 教育課程<br>学習指導 | ①新学習指導要領への対応<br>* 学力向上の取組<br>* 教育課程<br>* 新型コロナウイルス感染症に関わる対応  | A    | 「新しい学校の生活様式」に対応した教育活動や取組、学校行事の変更等、感染症対策を講じながら、教育課程を確実に進めることができた。実態の分析をもとに指導の重点化を図り、計画的に算数の習熟度別指導やTTによる指導、また個別指導の充実を進めてきた。今後も、タブレット端末の効果的な活用を図り、さらなる授業改善に取り組んでいく。学年ごとの学習検定を実施し、基礎基本のさらなる定着を図る。   | A        | A       |
| 生徒指導         | ②予防的・積極的生徒指導<br>* 学校いじめ防止基本方針に基づく取組<br>* 生徒指導体制の強化<br>* 安全指導   | A    | 特別支援教育の視点から、一人一人の児童に寄り添い、心のケアに努める体制をとった。情報や具体的な対応などの共有化を図り、組織的に迅速な対応を図ることができた。児童会では、「おもいやり集会・いじめをなくそう宣言」「あいさつ運動」など、児童が主体となって取組を進めることができた。また、校区内の商業施設や店舗、関係機関との情報共有を図り、放課後の過ごし方や通学路等の安全対策を施した。今後も個々の児童の状況を的確に把握して対応する予防的生徒指導、積極的生徒指導、地域と連携した安全確保に全教職員で取り組み、環境を整えていく。         | A        | A       |

|     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| その他 | ③「学びに向かう力」を育てる<br>授業づくり、学習づくり<br>＊研究主題の解明に向けた<br>計画的取組<br>＊学校課題に即した研究内容<br>＊学び続ける教師 | A | 各学年の授業実践をもとに、「学びに向かう力」を育てる授業改善、学習環境づくりを進めることができた。タブレット端末の導入に伴いデジタルドリルの研修を開催するなど、効果的な活用方法を交流する等、実践力を高めてきた。今後も学校課題に対応した研修、質の高い授業づくりをめざして組織的・協働的に授業研究を進めていく。   | A | A |
|     | ④健やかな体を育む取組の工夫<br>＊体力向上の取組<br>＊健康の増進に向けた取組  | A | 児童の安全・安心を最優先に諸活動を計画、実施することができた。運動会では、感染症対策を施した中で、今年度も全校よさこいを取り入れ、異学年での学び合いのよさを生かしながら活動を進めることができた。縄跳びの取組では、目標・内容の視覚化など、児童が意欲的に練習に取り組むことのできる環境づくりを工夫し、長縄大会を実施した。学級としての取組みにより、仲間と切磋琢磨し、体を動かすことの楽しさを味わわせることができた。今後も、全校で実施した新体力テストの結果をもとに、日常から体力向上と健康の増進について、全校が同じ目標に向かって活動することができるよう工夫を図っていく。 | A | A |
|     | ⑤豊か・確実な情報の発信<br>＊効果的掲示<br>＊読書活動の充実<br>＊学習環境整備                                       | A | メール配信システム、ホームページを活用し、様々な情報の発信と集約等、保護者との双方向の情報交換を行った。また、校門横の掲示板を活用し、学校便り等を掲示することで、地域への教育活動の周知を図った。PTAによる図書ボランティアはコロナ禍においても、実施方法を工夫するなど、大麻小の児童のためにと、充実した取組を進めることができた。今後も、必要に応じてメール配信システム、学校・学級だよりなどの様々な手段を活用して、保護者や地域住民に充実した情報を発信できるよう努めていく。  | A | A |
|     | ⑥連携<br>＊組織としての実践  | A | 感染症対策や通学路の安全確保、気象状況に関わる対応や日常的な情報発信など、児童の安全・安心を最優先に、保護者や地域、関係機関との連絡調整を図ってきた。喫緊の課題に対し、校内組織を機動的に活用し、対応することができた。また、毎月の職員会議でミニ研修を行い、教職員の資質向上に努めることができた。今後も、適切な情報収集とともに目標の進行管理を行い、組織的な対応のさらなる充実を図っていく。  | A | A |

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない